



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日  
東

上場会社名 株式会社新川 上場取引所  
コード番号 6274 URL <http://www.shinkawa.com>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 長野 高志  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員 経営企画部長兼経理部長 (氏名) 森 琢也 (TEL) 042-560-4848  
四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,430	33.2	△1,473	—	△1,085	—	△1,097	—
26年3月期第2四半期	4,076	△51.0	△1,835	—	△1,762	—	△1,763	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △630百万円(—%) 26年3月期第2四半期 △1,073百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△60.34	—
26年3月期第2四半期	△97.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	26,283	23,710	90.2
26年3月期	26,059	24,402	93.6

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 23,710百万円 26年3月期 24,402百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の期末配当予想については未定です。

3. 平成27年3月期第3四半期(累計)の連結業績予想(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	7,600	28.8	△2,350	—	△2,080	—	△2,090	—	△115.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付ページ3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付ページ3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	20,047,500株	26年3月期	20,047,500株
27年3月期2Q	1,873,085株	26年3月期	1,872,675株
27年3月期2Q	18,174,678株	26年3月期2Q	18,175,188株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
5. 補足情報	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国においては個人消費の拡大や住宅市場の回復を維持したものの、欧州では厳しい雇用環境や地政学リスクなどからデフレ懸念が強まり、また、日本では消費増税の反動減からの回復が停滞するなど、減速気味に推移しました。

半導体業界においては、スマートフォン新製品の発売に備え、モバイル関連需要が堅調に推移しました。DRAM、NANDフラッシュメモリの高い需要を受けて、主要メモリメーカーでは積極的な設備投資が行われました。

このような状況のもと、当社グループは、前連結会計年度に市場投入した製品の市場浸透や、同年度に再構築した営業・技術・生産体制による事業効率の改善に努め、シェア拡大および収益性改善に取り組みました。

その結果、主要OSAT等への新規参入に成功するなど、受注環境の改善は着実に進展しました。しかしながら、スマートフォン新製品の発表以降は顧客の生産計画が不透明になり、設備投資の見送りなどで受注拡大には至らず、当社の収益性改善に向けた諸施策も途上にあり、厳しい状況が続いています。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高5,430百万円（前年同期比33.2%増）、営業損失1,473百万円（前年同期は営業損失1,835百万円）、経常損失1,085百万円（前年同期は経常損失1,762百万円）、四半期純損失1,097百万円（前年同期は四半期純損失1,763百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より225百万円増加し、26,283百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金1,181百万円および投資有価証券581百万円であり、主な減少は、現金及び預金840百万円および仕掛品624百万円です。

負債合計は、前連結会計年度末より917百万円増加し、2,574百万円となりました。主な増加は、買掛金576百万円および繰延税金負債180百万円です。

純資産は、前連結会計年度末より692百万円減少し、23,710百万円となりました。主な増加は、その他有価証券評価差額金401百万円であり、主な減少は、四半期純損失の計上などによる利益剰余金1,158百万円です。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の93.6%から90.2%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より361百万円減少し、8,130百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローは、505百万円の支出（前年同期は448百万円の支出）となりました。その主な要因は、たな卸資産の減少額961百万円、仕入債務の増加額506百万円および減価償却費369百万円を計上したものの、売上債権の増加額1,162百万円および税金等調整前四半期純損失1,088百万円を計上したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、91百万円の収入（前年同期は207百万円の支出）となりました。その主な要因は、定期預金の預入による支出328百万円および有形固定資産の取得による支出293百万円があったものの、定期預金の払戻による収入816百万円があったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは、1百万円の支出（前年同期は91百万円の支出）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

半導体業界では、クラウドコンピューティングの普及に伴い、グラフィックデバイスやサーバー向けとなるメモリ積層品の量産時期が近付いたことから、先端設備投資の機運が再び高まっています。このような状況のもと、当社グループは、新製品群の拡販に加え、新体制によるグローバル・オペレーションの定着や外部パートナーとのアライアンスを活用した研究開発の推進など、グローバル競争力強化の取り組みを継続しています。一方で、足元の景況としては、スマートフォン新製品生産の先行き不透明感や、PCの買い替え需要の一巡による余剰感が強まっていることなどから、半導体メーカー各社の設備投資は調整局面が続くと予想されています。

直近の受注状況など、現時点において当社グループが把握する情報に基づき、第3四半期連結累計期間の業績予想を開示します。

第3四半期連結累計期間の業績は、売上高7,600百万円（前年同期比28.8%増）、営業損失2,350百万円（前年同期は営業損失2,888百万円）、経常損失2,080百万円（前年同期は経常損失2,651百万円）、四半期純損失2,090百万円（前年同期は四半期純損失1,199百万円）を見込んでいます。

なお、為替の想定換算レートは、105円/米ドルです。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、連結子会社の法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しています。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間に近似した年数とする方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が61百万円増加し、利益剰余金が61百万円減少しております。なお、これによる損益に与える影響は軽微です。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過年度より継続して営業損失、経常損失および当期純損失を計上しています。また、前連結会計年度においては、「企業体質強化」を軸に将来計画を見直した結果、短期での業績回復が見込めないものと判断し、固定資産の減損損失を計上しています。

このような状況により、当社は継続企業の前提に関する重要事象等が存在しています。

当社グループは、当該状況を解消すべく、前連結会計年度において希望退職の実施により固定費を削減するとともに、以下の施策に取り組んでいます。

#### ①事業効率の改善

グローバルな市場ニーズの変化にタイムリーかつスピーディに対応するため、平成25年10月より「企業体質強化」に取り組み、営業・技術・生産体制を再構築しました。

営業については、本社主体の営業体制を、各国販売拠点を主体とした営業体制に変更し、限定的であるものの成果が出始めています。

技術については、競争力のある商品開発のために商品企画機能を強化すると共に、開発期間の短縮に向けた開発工程の最適化プロジェクトを進めています。

生産については、最適地生産によるコスト低減を実現するため、本社工場は高付加価値製品を生産し、タイ工場は量産機種のワイヤボンダの生産に特化すると共に、リードタイムの短縮と工場在庫の適正化のため、コアユニットを共通化しました。

また、本社工場で行っている一部製品の製造業務について、生産効率の向上と固定費の変動費化を目的として、外部に委託する取り組みを始めました。

#### ②ビジネスチャンス獲得に向けた技術力強化

フリップチップボンダでは、装置評価を通じて顧客の試作・開発チームへ販売するなど、LFBシリーズは市場で高い評価を得ています。TCB工法フリップチップデバイスの量産は先送りとなりましたが、来たるべき顧客の量産投資に備え、外部パートナーとのアライアンスも推進し、3Dパッケージなどの先端技術分野での競争優位性を高めていきます。

また、当社グループは外部からの借り入れもなく自己資本比率も90.2%であり、事業運営を進めるための十分な運転資金を有しています。

以上のことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないと判断しています。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,212	8,372
受取手形及び売掛金	2,110	3,291
商品及び製品	2,953	2,569
仕掛品	1,624	1,000
原材料及び貯蔵品	409	554
その他	339	371
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	16,645	16,155
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,540	3,567
その他(純額)	2,895	2,921
有形固定資産合計	6,435	6,488
無形固定資産		
その他	81	91
無形固定資産合計	81	91
投資その他の資産		
投資有価証券	2,526	3,107
その他	372	442
投資その他の資産合計	2,898	3,549
固定資産合計	9,414	10,128
資産合計	26,059	26,283

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	277	853
未払法人税等	22	28
引当金	52	71
その他	234	289
流動負債合計	585	1,242
固定負債		
繰延税金負債	323	503
退職給付に係る負債	727	813
その他	22	15
固定負債合計	1,072	1,332
負債合計	1,657	2,574
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,360	8,360
資本剰余金	8,907	8,907
利益剰余金	9,287	8,129
自己株式	△3,149	△3,149
株主資本合計	23,405	22,247
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	871	1,272
為替換算調整勘定	127	195
退職給付に係る調整累計額	△1	△4
その他の包括利益累計額合計	997	1,463
純資産合計	24,402	23,710
負債純資産合計	26,059	26,283

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	4,076	5,430
売上原価	2,809	4,217
売上総利益	1,267	1,213
販売費及び一般管理費	3,101	2,686
営業損失(△)	△1,835	△1,473
営業外収益		
受取利息	11	5
受取配当金	27	24
為替差益	-	344
助成金収入	40	-
その他	11	17
営業外収益合計	88	391
営業外費用		
為替差損	15	-
賃貸収入原価	1	3
その他	0	0
営業外費用合計	16	3
経常損失(△)	△1,762	△1,085
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	3	-
固定資産売却益	-	2
特別利益合計	3	2
特別損失		
固定資産除却損	-	5
特別損失合計	-	5
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,760	△1,088
法人税、住民税及び事業税	13	13
法人税等調整額	△10	△5
法人税等合計	3	8
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,763	△1,097
四半期純損失(△)	△1,763	△1,097

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,763	△1,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	463	401
為替換算調整勘定	227	68
退職給付に係る調整額	-	△3
その他の包括利益合計	690	466
四半期包括利益	△1,073	△630
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,073	△630
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,760	△1,088
減価償却費	414	369
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	0
受取利息及び受取配当金	△37	△30
為替差損益(△は益)	39	△125
売上債権の増減額(△は増加)	244	△1,162
たな卸資産の増減額(△は増加)	257	961
仕入債務の増減額(△は減少)	189	506
退職給付引当金の増減額(△は減少)	151	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	17
その他の引当金の増減額(△は減少)	△56	19
固定資産除却損	-	5
有形固定資産売却損益(△は益)	-	△2
ゴルフ会員権売却損益(△は益)	△3	-
その他	97	△28
小計	△462	△557
利息及び配当金の受取額	42	34
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△28	18
営業活動によるキャッシュ・フロー	△448	△505
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△370	△293
有形固定資産の売却による収入	2	3
貸付金の回収による収入	8	8
無形固定資産の取得による支出	△31	△39
定期預金の預入による支出	△525	△328
定期預金の払戻による収入	710	816
その他の支出	△28	△86
その他の収入	26	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△207	91
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△91	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△91	△1
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	54
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△711	△361
現金及び現金同等物の期首残高	9,253	8,492
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	234	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,776	8,130

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

最近における四半期毎の業績の推移

平成26年3月期(連結)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通期
	平成25年4月 ～平成25年6月	平成25年7月 ～平成25年9月	平成25年10月 ～平成25年12月	平成26年1月 ～平成26年3月	平成25年4月 ～平成26年3月
売上高(百万円)	1,728	2,348	1,823	1,583	7,481
売上総利益(百万円)	582	684	491	377	2,135
営業損失(△)(百万円)	△885	△950	△1,054	△1,224	△4,113
経常損失(△)(百万円)	△801	△961	△889	△1,258	△3,909
税金等調整前四半期 純利益又は税金等調整前 四半期(当期)純損失(△) (百万円)	△801	△958	567	△3,109	△4,302
四半期純利益又は 四半期(当期)純損失(△) (百万円)	△804	△959	564	△3,114	△4,312
1株当たり四半期 純利益又は四半期(当期) 純損失(△)(円)	△44.21	△52.79	31.05	△171.33	△237.27
総資産(百万円)	30,837	30,267	29,913	26,059	26,059
純資産(百万円)	28,483	27,725	27,702	24,402	24,402
受注高(百万円)	2,906	2,168	1,488	2,166	8,728

平成27年3月期(連結)

	第1四半期	第2四半期
	平成26年4月 ～平成26年6月	平成26年7月 ～平成26年9月
売上高(百万円)	2,631	2,800
売上総利益(百万円)	549	664
営業損失(△)(百万円)	△753	△720
経常損失(△)(百万円)	△787	△298
税金等調整前四半期 純損失(△)(百万円)	△785	△303
四半期純損失(△) (百万円)	△790	△307
1株当たり四半期 純損失(△)(円)	△43.44	△16.90
総資産(百万円)	26,078	26,283
純資産(百万円)	23,721	23,710
受注高(百万円)	2,884	1,912